

2021・中学校「牧野富太郎 日本植物学の父」

【非推奨】

□この物語の主人公・牧野富太郎には「絵を描く才能」と「ただひたすら植物を愛する才能」がありました。

私は、そんな才能を持つ富太郎が と思いました / 感じました。

□富太郎は植物の研究のために裕福だった実家をつぶしてしまうほどお金をどしどし使って、とてもびんぼうに

なっていました。私が富太郎 / 富太郎の家族 なら と思いました。

□富太郎が勉強 / 研究 / 植物学 への思いが強く「自分へのやくそく」を書き記します。私はこの「楮鞭一撻

(しゃべんいったつ) を読んで だと思いました。

とくに 気になった / すごいと思った / びっくりした / 自分にはできないと思った のは、○○○○○○○○○○ です。

なぜなら からです。

□私も【○○○○○○○○○○に関連する体験 / ○○○○○○○○○○がむずかしいと思った出来事】

①状況の説明：いつ・どこで・だれが / だれに ②行動：きっかけ / 理由・何を・どうした・どのように /

どのくらい・なぜ / どうして ③状況 / 心の変化：どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったか

ということがありました。

そのこと / 経験 から、 だと思いました / ということ学びました。

□もし私が富太郎の立場だったら、 だと思いました。

□今まで、専門家 / 植物学 / 一つのことを極めること について 深く / それほど 考えたことがありませんでした。

今は、 と思いました / 考えました。

□私も【専門家・プロフェッショナルな人を尊敬する出来事 / 感動した体験】 ①状況の説明 ②行動 ③状況 /

心の変化 ということがありました。

そのこと / 経験 から、(専門家の知識の豊富さにおどろいた / プロフェッショナルな人がとてもかっこよかった /

ほこりをもって仕事をしている人は / 誰かの役に立つことは) だと思いました / ということを感じました。

なぜなら、 からです。

□この本を読むことで、富太郎の時代の学ぶことの大変さ / 苦勞 / 情熱 / 信念 / 社会貢献 について、少しだけ

考える / 知る ことができました。これをきっかけに、今まで当たり前だと思っていた 学ぶこと / 勉強 / 好きなこと

を続けること について だと思えるように / 考えるようになりました。

これからは、学ぶこと / 勉強すること / 好きなことに興味を持つことを

だと思いました。